

《著者紹介》

一坂太郎（いちさか・たろう）

1966年 兵庫県生まれ。

大正大学文学部史学科卒業。1990～2003年2月まで東洋記念館学芸員を務める
も、同館閉館により退職。

現在 萩博物館特別学芸員、防府天満宮歴史館顧問。

著作 『高杉晋作史料』（マツノ書店）、『高杉晋作』（角川ソフィア文庫）、『長州奇兵隊』『暗殺の幕末維新史』（以上、中公新書）、『高杉晋作の手紙』『遊清五録 現代語訳』（以上、講談社学術文庫）、『木戸孝允』（山川出版社）、『高杉晋作の「革命日記」』（朝日新書）、『久坂玄瑞』（ミネルヴァ書房）、『吉田松陰190歳』（青志社）、『高杉晋作を歩く』（山と渓谷社）、ほか。